

競技注意事項

1 規則

本大会は、2016年度(財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

2 練習

事故防止の観点から競技役員の指示に従い、十分に注意をして練習すること。

- ① 競技場周辺の公園は一般の方々も多く利用しますので練習は、基本的には補助競技場を利用し、駐車場等での練習は禁止する。また、補助競技場での投てき練習は禁止する。
- ② 主競技場での練習は、3日間とも最初の種目の競技開始20分前までとする。
ただし、競技に支障ない範囲で主競技場を開放する。その際競技役員の指示に従うこと。
- ③ 競技開始前の主競技場での練習方法
 - ・1～2レーン…ジョグ
 - ・3～4レーン…中・長距離
 - ・5～6レーン…短距離
 - ・7～8レーン…ハードル
- ④ 主競技場での練習は、大会参加者に限る。
- ⑤ フィールド競技の練習は、競技役員の指示に従い、招集完了時刻より練習できる。

3 競技場

主競技場の競走路及び助走路の舗装の厚さは、トラック13mm、フィールド15mmである。スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投のスパイクのピンの長さは、12mm以下とする。

4 招集

- ① 招集所は、100mスタート地点後方付近に設ける。
- ② 招集に遅れた者は、棄権とみなし出場を認めない。
- ③ 招集開始及び完了時刻は、競技日程に記載された通りとする。
- ④ 競技者は、出場種目の招集開始時刻から完了時刻までに招集所でナンバーカード、スパイクのピンの点検を受ける。
- ⑤ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が招集の際、招集所の競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入し提出する。

5 欠場

出場種目を欠場する場合には、招集完了時刻前までに欠場届を招集所の競技者係に提出すること。
(「欠場届」は招集所で配布する。)

6 入退場

競技役員の指示に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心掛けること。

7 ナンバーカード

- ① ナンバーカードは胸と背に1枚ずつ確実につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ② トラック種目では、腰ナンバー標識を右腰やや後方につけること。3000m以上の種目は特別ナンバーカードを使用する。(招集所で配布し、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。)

8 トラック競技の組・走路順、フィールドの試技順

- ① トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選し、プログラムに示す。
- ② トラック競技決勝の走路順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。

9 スタートについて

- ① **スタート合図は、すべてイングリッシュコマンドで行い、不正スタート1回で失格とする。**

10 リレー競技

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙1部を招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。(リレーオーダー用紙は、招集所で配布する。)
- ② リレー競技においては、同一チームの競技者は、同一のユニフォームを着用すること。

11 計 時

トラック種目は、すべて写真判定(1/100秒)で行う。

12 トラック競技の決勝進出について

同タイム者については、**写真を細部(1/1000秒)**まで読み取り優劣を判定する。それでも、判定できない場合は、同タイム者によって抽選する。

13 跳躍種目のバーの上げ方は、次の通りである。(ただし、荒天の場合は、別途指示する。)

種 目	練 習	上 げ 方
成年男子走高跳	1m80～	1m85 1m90 1m95 2m00 2m05 2m10 2m13 以後3cm
成年女子棒高跳	2m10～	2m30 2m40 2m50～3m00(10cm) 3m05 3m10 以後5cm
成年/少年A女子共通走高跳	1m40～	1m45 1m50 1m55 1m60 1m63 1m66 1m69 以後3cm
少年女子共通棒高跳	2m10～	2m30 2m40 2m50～3m00(10cm) 3m05 3m10 以後5cm
記録会男子走高跳A	1m45・1m65	1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m73 1m76 以後3cm
記録会男子走高跳B	1m60・1m85	1m65 1m70 1m75 1m80 1m85 1m90 1m93 以後3cm
記録会男子棒高跳A	3m00・3m80	3m50 3m60 3m70～4m20(10cm) 4m25 4m30 以後5cm
記録会男子棒高跳B	4m20・4m70	4m30 4m40 4m50～5m00(10cm) 5m05 5m10 以後5cm
記録会女子走高跳A	1m20・1m35	1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m53 以後3cm
記録会女子走高跳B	1m30・1m55	1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 1m63 以後3cm

第1位決定のためのバーの上下の範囲は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

14 競技用具

競技に使用する用器具は、主催者が用意する。ただし、各自の投てき器具は、検査を受け個人のものを使用してもよい。検査は競技開始時刻80分前から60分前までに器具庫で受ける。棒高跳用ポールは競技場所で跳躍審判員の検査を受ける。

15 抗 議

競技規則146条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。
裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が **抗議申立書と預託金10,000円を総務に提出する。(正式アナウンス後30分以内。同一日に次のラウンドが行われる種目は15分以内とする。)** 競技規則146条による。

16 そ の 他 (競技方法)

① 次の種目は競技運営上、2つの種別を同時刻に行う。

成年/少年女子A共通800m・少年女子B800m	少年男子B砲丸投・少年女子B砲丸投
成年/少年女子A共通走高跳・記録会女子走高跳B	成年男子円盤投・記録会男子円盤投・高校男子円盤B
成年男子走幅跳・少年男子B走幅跳・少年女子B走幅跳	成年男子やり投げ・記録会男子やり投げ
成年女子三段跳・少年女子共通三段跳	成年女子やり投げ・記録会女子やり投げ
成年女子棒高跳・少年女子共通棒高跳	

***成年女子及び少年女子Aの800m・5000mW・走高跳は、成年/少年A女子共通として同時に行う。**

② 次の種目は競技運営上、制限タイムを設ける。(残り1周通過タイム)

記録会男子5000m—19分、記録会女子3000m—14分、**成年/少年A女子共通5000mW—35分**

③ **少年共通110mJHのハードルの高さは、0.991m、インターバルは9.14mとする。**

少年女子B100mHのハードルの高さは、0.762m、インターバルは8.5mとする。

少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.0kgとする。**少年女子Bの砲丸の重さは4.0kgとする。**

④ 走幅跳のピットは、トラック側をA、スタンド側をBとする。

⑤ 記録会の長さを競う競技の試技は、3回とする。

⑥ **記録会男子三段跳の踏切板は、A・B—10m、C—11m、D—12mとする。**

17 注意事項

① プログラムの訂正は、速やかに本部庶務係に申し出ること。

② 競技会で発生した傷害については、主催者側で応急処置をする。

③ 更衣室は更衣のみに使用し、他の目的には使用しないこと。

④ 貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。

⑤ **ゴミは持ち帰ること。帰宅途中に捨てていくことはマナー違反なので厳に慎むこと。**

⑥ 競技場の開門時間は、3日間とも7時30分(予定)とする。

(競技場の状況によっては、開門時間が早くなる場合がある。)